

議会のトビラ

令和7年度予算案を集中審議
市民フリースピーチ&市民と議員の懇談会



☆次回は6月28日開催決定☆

第2回「可児市議会 市民フリースピーチ」参加者の募集については3ページへ

市民フリースピーチ & 市民と議員の懇談会

可児市をよりよくするには？ 普段皆さんが思っていることを議員や市民の前で自由に発言する「市民フリースピーチ」を2月15日に可児市議会として初めて開催し、5人の方に発言していただきました。また、第2部としてテーマを3つ設け、「市民と議員の懇談会」を行いました。そのフリースピーチの発言の概要や、懇談会の様子をご紹介します。

第1部 議場で 語 ろう

～ 市民フリースピーチ ～



中本由美子さん

「帷子地区の交通について」

- ・ボランティアによる移動支援の取り組みへの公的支援が今後も必要。
- ・コミュニティバスの新たなルート、ダイヤ等については単なる交通計画ではなく「まちづくり」の観点で住民と共に協議し、意見を反映してほしい。

「耕作放棄地の活用について」

市内に耕作放棄地が増え様々な問題が発生している。作業負担の少ない作物を追加で作付けしたり、体験型農業施設を整備して子どもたちに体験してもらったりするなど、農地の活用を。また、外国の方の労働力を活用してはどうか。



渡辺武さん



永井裕磨さん

「子育て支援の拡充を」

- ・日曜祝日などの休日でも市内で診療してもらえる小児科があるとありがたい。
- ・子ども医療費無償化の拡充や、給食費の無償化を。県内でも実現している市町がいくつかあり、可児市が行うことで人口維持や発展につながるのではないかと。

「災害時の市の備品／障がい者への配慮について」

- ・大災害時に備え、トイレカー、キッチンカー、お風呂カー、ランドリーカーなどを他市町村と連携、協力するなどして準備してはどうか。
- ・車椅子利用者や点字ブロック利用者の当事者の声を反映してほしい。



内間寅男さん



日比野蒼士さん

「ボクが知る防災・みんなが知る防災」

防災に興味を持ち、「わくわく防災ジュニア岐阜可児」に加入するなどして知識を深めている。参加者が自ら考える「災害図上訓練」は屋内でできるため、小中学校の総合学習や自治会の防災訓練などに取り入れると良いのでは。

～ 発表者・傍聴者の感想 ～

- ・とても緊張しましたが、今後の可児市のために発言できてよかった。
- ・自分以外の人々の知識や意見が聴けてよかった。
- ・幅広い世代の意見を聴きたいので、ぜひ次回も続けてほしい。



第2部 議員と 語 ろう

～ 市民と議員の懇談会 ～

テーマ:「災害から家族と地域を守る！市民防災の力」



自治会や防災士、学校など地域での連携強化が必要。

テーマ:「子どものための多様な居場所づくりを」



地域コミュニティや親子の人間関係の変化もある。個性を大切にした教育が必要。

テーマ:「脱炭素に向けて私達ができること」



会議でのペーパーレスを廃止を。

全体での意見共有



参加者のご意見などをまとめた報告書はこちら

各テーマの懇談で率直なご意見をいただき、充実した意見交換ができました。今後はいただいたご意見を踏まえ、調査研究を進め、委員会活動に生かしていきます。



好評につき第2回開催決定！

～ 「可児市議会 市民フリースピーチ」の参加者を募集 ～

可児市をよりよくするには？あなたのアイデアや意見を自由に発言してください。

- 日時 6月28日(土) 14時～ ●会場 市役所 議場 ●募集人数 5人程度
- 対象者 市内在住、在勤、在学の方 ●発言時間 7分以内 ●申込締切 6月2日(月)
- 申込方法(次のいずれか)
 - ・2次元コードを読み取り、webフォームにて申し込む
 - ・議会ホームページか議会事務局にある「参加申込書」を以下の申込先に提出する

●問合せ・申込先 可児市議会事務局 議会総務課
TEL 0574-62-1111 (内線3503)、FAX 0574-63-3972
Eメール gikai-jimu@city.kani.lg.jp

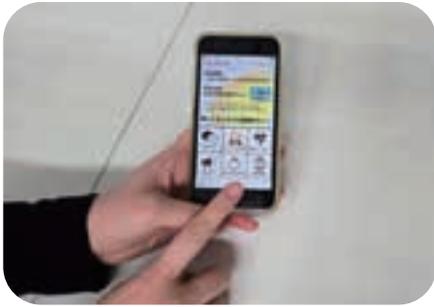
※発言者以外の方も、ぜひ傍聴にお越しください。事前の申し込みは必要ありません。



申込webフォーム

に向けた予算が決定

過去最大の予算規模
一般会計 385億3000万円



デジタル通知サービス (イメージ)



庁舎正面・総合会館東側駐車場に設置する
ソーラーカーポート (イメージ)

基金や国の補助金などを活用して、
いろんな事業が充実されるんだね！



提言 4

道路補修や交通安全環境の整備の推進を！ に対して…

国の補助金や有利な事業債を活用しながら、市民要望に応えるべく舗装修繕や交通安全施設の整備を重点的に行う。幹線道路だけでなく生活道路の舗装修繕や、道路側溝・カーブミラーの補修等も例年より事業量を増やして対応する。

PICK UP

- 道路舗装の改修(5億円) **約3億円UP!**

身近な生活道路の整備も
より進んでいくよ！



提言 5

温暖化対策に率先して取り組み、ゼロカーボンの推進を！ に対して…

「GXアクション重点事業」である①公共施設への太陽光発電設備の設置、②公用車の次世代自動車化、③公共施設の照明設備LED化を進め、行政の率先行動を「可視化」することで市民と事業者の意識・行動変容につなげていく。

PICK UP

- GX(グリーン・トランスフォーメーション)推進のため約7億5000万円を予算化
次の事業により公共施設の省エネ化、二酸化炭素排出量の削減を進める。
- 庁舎・総合会館の駐車場にソーラーカーポートを設置(2億6300万円) **新規事業**
 - 公用車として電気自動車等を購入(1525万円)
 - 各公共施設の照明 LED化(4億1140万円) **拡充**

行政の率先行動に
注目してね！



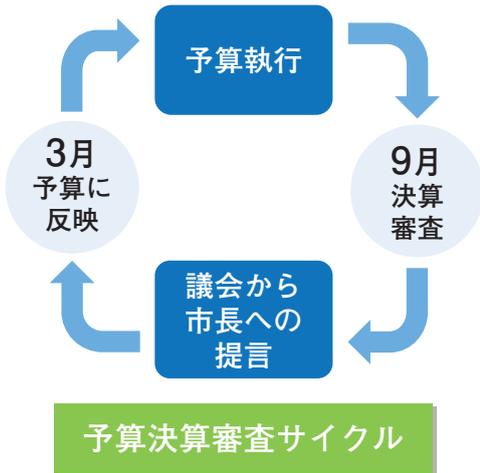
提言 6

不登校児童生徒の居場所確保・活動団体への支援充実を！ に対して…

「校内教育支援センター」を学校内に設け、安心した空間の中で自分のペースで学習や生活、相談できる居場所をつくっていく。地区センターを使用する場合の使用料の減免など各種支援制度の活用により、地域の中でも多様な居場所ができるよう働きかけをしていく。

令和7年度予算案を審議

「住みごこち一番・可児」



議会では、9月の決算審査時に事業の取組み状況などから、次年度の予算に反映させるべき事項を市長に提言しています。これらの提言が事業の拡充など、住みよいまちづくりのための取組みにつながっていきます。

令和6年9月の提言がどう反映されたのか
見てみよう！



議会からの提言 予算にどう反映？

提言
1

森林環境譲与税・森林環境税 多方面での活用を！ に対して…

対象事業の洗い出しを市全体で行い、新たに公園・緑地管理における支障木の伐採に活用する。この結果、森林環境基金へ積み立てることなく、森林環境譲与税の全額を森林整備事業に充当できた。

PICK UP

- 公園・緑地の支障木伐採に活用(300万円)
- 危険木伐採等事業補助金の新設(100万円) **新規事業**

提言
2

財政調整基金 市民生活向上のためにもっと活用を！ に対して…

できる限り基金を活用して、生活道路の舗装修繕、公共施設の照明LED化や老朽化対策工事などの市民生活向上につながる事業に予算を重点的に配分した。児童手当の支給対象拡大や、子ども医療費助成の高校生世代までの拡大など、子育て施策の充実も図った。

提言
3

さらなるDXの推進を！ に対して…

市政経営計画に基づき多様なライフスタイルに対応するため業務のデジタル化などDX推進を図る。国・県の交付金などを活用し、オンライン申請だけでなく市民への各種通知文書のオンライン化などを進めていく。

PICK UP

- デジタル通知サービス導入(1364万円) **新規事業**

市からのお知らせを「より早く・いつでも・どこでも」
スマートフォンで受け取れるようになるよ！



常任委員会報告

〔第1回定例会での審査内容など主な委員会活動を紹介します〕

予算決算委員会

各会計の令和7年度予算、令和6年度補正予算について、103件の質疑を行い、予算案を審査しました。

令和7年度一般会計予算

Q 子どもたちの安全確保のため、通学路への防犯カメラ設置に400万円計上しているが、どのように進めるのか。

A 今渡北・今渡南・土田小学校、蘇南中学校の通学路に約20台設置する予定であり、設置場所は警察やPTA、地域住民と協議して効果的な場所を選定する。

他の学校の通学路には、令和8年度以降に、計画的に順次設置していく。

Q さつきバスに導入した「バスロケーションシステム」を今後どのように生かしていくか。

A 本システムにより時刻表と実際のバス通過時間のタイムラグを把握できるため、利便性の高いダイヤ改正につなげられる。また、搭載しているカメラと本システムを連動することで、バス停ごとの乗客数を自動カウントできるようになった。この利用者実績データを集積・分析し、バス停設置場所の見直しに活用していく。

Q 絆るくむの職員体制をどのように見直し、機能強化していくのか。

A 近年、保護者からの子育ての悩みや不安相談、来室時の一時的な利用児の見守りなど、個別対応や配慮が必要なケースが

増えている。また月に1回の子育て講座などの開催もある。

現在シフト制で勤務している専任スタッフの内1人をフルタイムに準じた勤務とし、スタッフ間の情報共有の強化やイベントの企画・準備の全体調整を担えるよう人的配置をし、利用者サービスの向上につなげていく。

◆ 討論の内容 ◆

反対 大森地内にある要対策土2千立方メートルの処分に関する問題や地上走行による騒音

など、解決が見通せないリニア中央新幹線関連の支出はすべきではない。

またマイナンバー制度により税や社会保障分野にとどまらず、各種分野での統合化が進み、住民の基幹情報が全国的に紐づけされ得る事態は危険である。マイナンバー制度関連の予算化は慎重であるべきこと等から、反対。

賛成 過去最大規模の予算となったが、物価高騰だけによるものではなく、各施策の充実が図られたと言える。特に子育て

世代へのインフルエンザ予防接種費用助成等の拡充、高齢者への移動支援のさらなる取組みなど、様々な施策が拡充されている。さらに、議会からこれまでも要望していた地域の道路整備に大幅な予算措置がされており、未来に向けたDX、GX等の予算措置もなされていることから、賛成。

総務企画委員会

条例の一部改正10件について審査しました。

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正

法改正により時間外勤務の制限を請求できる職員の範囲が拡大されることなどに伴い、改正するものです。

Q 介護両立支援制度の利用対象となる介護度はどの程度か。

A 配偶者等が要介護・要支援状態の場合などに請求ができ、人事課において事実確認をする。

建設市民委員会

条例の一部改正4件について審査しました。

水道の布設工事監督者・技術管理者に関する条例の改正

国において布設工事監督者等の実務経験年数や学歴などの要件が変更されることに伴い、改正するものです。

Q 資格要件が変わることにより人材不足への影響は。

A 計画的な人員配置により経験を積みながら技術員の養成ができるため、人材不足にはつながらない。

教育福祉委員会

条例の一部改正3件について審査しました。

地域包括支援事業の実施基準を定める条例の改正

国において地域包括支援センターの職員配置基準が緩和されることに伴い、改正するものです。

Q 配置基準を緩和する前に介護職員人材を増やしていくための取組みをすべきではないか。

A 引き続き職員数の充足に努めることは大前提である。全国的に職員が不足する中、本市においても万が一に備え、新たな配置基準でも運営ができるようにし、速やかに職員の補充に努めていく。

反対

職員の配置基準を緩和することはサービスの質の低下



委員会トピックス

総務企画委員会 つくばみらい市と豊島区を視察



つくばみらい市では農業の諸課題を農家だけの問題とせず、消費者である市民が主体という意識改革を通じたブランディングの取組みを、豊島区の「イケ・サンパーク」ではゲーム感覚で楽しめる工夫により防災を身近なものとする取組みを学びました。視察で得た知見を本市に生かせるよう調査研究を進めます。



審査の様子はYouTubeでも見られます



につながる可能性があり、配置人数の基準を引き下げるべきではないことから、反対。

建設市民委員会 さつきバスに乗って調査



公共交通について、調査研究を進めています。1月から2月にかけて委員でペアを組み、さつきバスの各路線に乗車し、乗客や運転手からお話を聴きました。また、市内や近隣の高校生を対象に公共交通のアンケートを実施しました。今後は市に委員会の意見を伝えられるよう、取りまとめていきます。

教育福祉委員会 蘇南中学校を視察



蘇南中学校の「校内教育支援センター」を視察しました。教室とは別に、落ち着いた環境を整え、生徒に寄り添った対応がされていました。必要な支援が行き届くよう、相談員など学校規模に応じた人員配置の必要性を感じました。今後も他の学校への広がり状況を注視していきます。

第1回定例会 提出された議案と審議結果 可決

提出された議案（承認1件、予算16件、条例17件、人事1件、契約2件、その他1件合計38件）と議会運営委員会の提案（発委2件）は、すべて原案のとおり可決されました。



【全会一致で承認・可決された議案】

番号	件名
承認 1	令和6年度一般会計補正予算（第7号）
議案	5 令和7年度自家用工業用水道事業特別会計予算
	6 令和7年度可見御嵩インターチェンジ工業団地開発事業特別会計予算
	7 令和7年度土田財産区特別会計予算
	8 令和7年度北姫財産区特別会計予算
	9 令和7年度平牧財産区特別会計予算
	10 令和7年度二野財産区特別会計予算
	11 令和7年度大森財産区特別会計予算
	12 令和7年度水道事業会計予算
	13 令和7年度下水道事業会計予算
	14 令和6年度一般会計補正予算（第8号）
	15 令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
	16 令和6年度介護保険特別会計補正予算（第2号）
	17 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正
	18 一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正
	19 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
20 職員の育児休業等に関する条例の一部改正	
21 職員の給与支給に関する条例の一部改正	
22 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	

番号	件名
議案	23 単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部改正
	24 手数料徴収条例の一部改正
	25 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
	26 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正
	28 移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部改正
	29 企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正
	30 水道の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部改正
	31 下水道条例の一部改正
	32 消防団員等公務災害補償条例の一部改正
	33 非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正
	34 可茂広域公平委員会委員の選任
	35 請負契約の締結（運動公園グラウンド人工芝整備工事）
	36 請負契約の変更（桜ヶ丘小学校校舎長寿命化改良工事）
	37 損害賠償の額の決定及び和解
	請願 1
発委	1 議会個人情報保護条例の一部改正
	2 刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書

【賛否が分かれた議案】

番号	件名	田上	前川	酒向	田口	松尾	奥村	大平	渡辺	高木	板津	伊藤	天羽	澤野	山田	酒井	野呂	川合	川上	伊藤	富田	亀谷	林	
		元一	一平	さやか	豊和	和樹	新五	伸二	仁美	将延	博之	壽	良明	伸	喜弘	正司	和久	敏己	文浩	健二	牧子	光	則夫	
議案	1 令和7年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
	2 令和7年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
	3 令和7年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
	4 令和7年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
	27 地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○

※○は賛成 ●は反対 ※議長（澤野 伸）は採決に加わらない。
 ※議案の詳しい内容については、議会ホームページまたは議会事務局窓口にてご覧いただけます。

刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書

えん罪被害者の救済制度である再審について、現行法では再審請求手続の審理のあり方や証拠開示の仕組みに関する規定がほぼなく、制度的な担保や公平性が損なわれている状況にあります。

そのため、証拠開示のルール化や速やかな再審公判への移行など、国において、えん罪被害者を一刻も早く救済するために、刑事訴訟法の再審規定について法改正を速やかに行うよう強く要望する意見書を国に提出しました。

12の視点 一般質問

名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）への対応は



たがみ もとかず
田上 元一

Q 存廃について意思決定の期限はいつ頃と考えているか。

A 3市町の意味決定の期限として、遅くとも本年6月末までには方針を示すこととなる。

Q 本市の意思決定にあたり、市民の声を直接聴くために説明会の開催は考えているか。

A 何回か実施したアンケートで市民の利用状況や意向は確認しているため、現時点で説明会を開催する考えはない。

Q 名鉄広見線活性化協議会の場で議論することはあるか。

A 活性協は基本的に存続のための協議の場であるが、今回の経緯は説明する必要があると考える。

PFAS（有機フッ素化合物）への対応は



存廃が議論されている名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅区間）

Q 本市の水道水のPFAS検査状況とその結果は。

A 入口の浄水場では原水と処理後の浄水を県が、出口の蛇口では市がそれぞれ検査しており、いずれも現在に至るまで非検出となっている。

Q 市民への正しい情報提供についてどう考えるか。

A 国内外の動きを注視し、市民生活に影響が懸念される場合等は、速やかに情報提供したいと考える。

自治会などの自治組織DX推進と人的支援を



まつお かずき
松尾 和樹

Q 市は自治会が抱える課題をどのように認識しているか。

A 自治会脱会者の増加等による地域コミュニティの継続性が主要課題になりつつあると認識している。

Q 市の継続的支援とは。

A 市では自治連絡協議会の取組みに協力しており、6年度には自治会が委員を選出している各種団体を交えての検討会議を開催した。会議では、自治連絡協議会から「真に必要な地域活動が何かを協議し、時代に合った活動や人員数に見直しをしてはどうか」という趣旨の提言がなされ、地域ごとに必要な人数の再検討を進めていくこととなった。

現在は各地域や各団体の中で情報共有されている段階であるが、市としても求められ

る支援をしていきたい。

情報提供など
プッシュ型の支援を

Q DX推進の支援や伴走型支援コーディネーターの配置など、より積極的な支援は。

A 日頃から連絡所や市役所で相談を受けている。また連絡所は地域課題に寄り添う役割もあるため、気軽にご相談いただきたい。



地区センターで開催された企画に集う市民



YouTubeで一般質問の様子を配信しています。※一般質問の紙面は、質問議員が作成しています。

12の視点 一般質問

会計年度任用職員の処遇改善は

Q 令和6年度に会計年度任用職員の処遇改善が行われたが、その内容は。

また、フルタイム会計年度任用職員が正職員となる道はあるのか。

A 令和6年度から期末手当支給対象者の拡大と支給率のアップ、勤勉手当の導入、給料月額の上上げを行った。

例えば一般事務職は令和5年度と比べて約8%、保育士は約8.3%、図書館司書は約8%の給料月額の上上げが行われている。

また、会計年度任用職員の中には、市職員採用試験を受けて市の正職員になった方もいる。

おたふくかぜ予防接種に助成を



とみだ まきこ
富田 牧子

Q おたふくかぜに感染して、ムンプス難聴や無菌性髄膜炎、脳炎が引き起こされることがある。これを防ぐには、おたふくかぜ予防接種が有効である。しかし、任意接種であるために、公費補助がない。県内7市では助成を行っているが本市も助成する考えはないか。

A 現時点では接種費用助成の考えはないが、今後おたふくかぜワクチンの定期接種化における国の動きやおたふくかぜの流行の兆しなどを注視して、対応を考えていく。



おたふくかぜ予防接種に公費助成を
(豊橋市リーフレット抜粋)

リニア大森工区 要対策土の撤去を

Q リニア新幹線工事では、地盤沈下や水枯れなど問題が多発している。市内で発生した要対策土を仮設的にため置

くのは適切ではない。重複の自然災害も多発する今日、大森地内にある約2千立方メートルの要対策土の軽減や処分を早期かつ適正にすべきではないか。

A 本市の対応は如何か。JR東海から最終的な処分方法は、鉄道施設などの自社用地での封じ込めにより対応することを基本に、それが難しい場合、行政から許可を受けた専門業者への持込み等で対応すると報告を受けている。市としては、早期に大森仮置場から要対策土を搬出し、適正に処分されるよう、今後

もJR東海に要望していく。



いとう けんじ
伊藤 健二

農業振興援助策の見直しを

Q 認定農業者等支援事業補助金があるが、付属機械の更新は対象外など条件が厳しいとの声も聴く。

A 認定農業者等の経営基盤安定のため、当補助金の対象事業・経費等については、今後、認定農業者のニーズや導入の効果を検証しつつ改善、拡充をしていきたい。



大森工区内で発生した建設残土

12の視点 一般質問

下水道施設 老朽化対策への取り組みは



いたず ひろゆき
板津 博之

Q 埼玉県八潮市の道路陥没事故を受けて、本市独自で下水道管路などの下水道設備の緊急点検は実施したか。

A 本市では独自に2月10日から14日にかけて、職員による緊急点検を実施した。

具体的には、大森地内で、法定耐用年数50年を経過した下水道管について、マンホールで点検した。また、土田地内で、平成初期に布設した管口径1メートル以上の下水道管についても点検し、それぞれ堆積や劣化がないことを確認した。

さらに、管口径1メートル以上の下水道管約3キロメートルについても道路の舗装面を点検し、異常がないことを確認している。



市が緊急点検を実施したマンホール(大森地内)

セラミック管の修繕状況は

Q 下水道事業の初期段階で投入されたセラミック管渠の修繕の進捗状況は。

A 市ストックマネジメント計画に基づき、特に状況の悪い6.2キロメートルのうち、令和6年度末で約4.9キロメートル、79%が修繕完了の見込みであり、令和7年度末には全てを完了する見込みである。

観光資源の魅力発信と ブランドディング施策



まえかわ いつべい
前川 一平

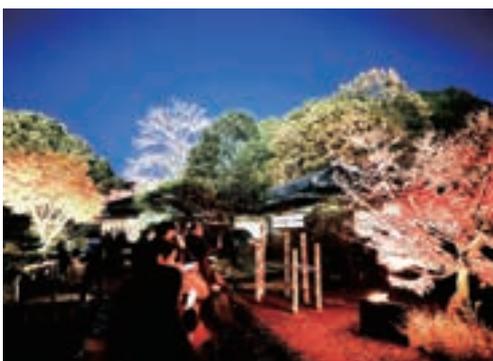
Q 本市の観光資源の魅力を伝えるための方針は。

A 本市には山城や美濃桃山陶といった特色ある観光資源がある。現在、市広報や公式ホームページ、SNSなどを活用し、情報発信を強化している。インバウンド対策として多言語対応パンフレットの作成を進めており、より効果的な魅力の発信に努めたい。

市民が誇れる観光スポットの充実を

Q 観光スポットの充実や広域連携の取り組みは。

A 本市の観光施策は、山城や美濃桃山陶を軸に展開している。例えば、全国から多くの来場者を集める「山城に行こう」は、本市の魅力を発信する重要な事業の一つである。



織部庵「織部のあかり」イベント風景

美濃桃山陶では、歴史・文化遺産を観光・経済に結びつけるため、文化観光推進法に基づく拠点計画の採択に向けて、文化観光拠点の機能強化を目指す。また、県の理解を得て、ぎふワールド・ローズガーデンの「織部庵」の活用や、他自治体と連携した美濃焼の発信など、今ある資源をさらに磨き観光施策の強化を図っていく。

12の視点 一般質問

明智光秀公 生誕500年に向けて



あまう よしあき
天羽 良明

Q 有志で構成される明智光秀公研究会は、諸説を調査し

生誕日を1528年8月17日と定め、生誕祭を毎年開催してきた。2028年は、生誕500年の節目にあたる。

A 知名度アップの絶好のチャンスと考えるがどうか。

A 明智光秀の生誕年に関しては1528年が有力説の一つだが、確実な史料が見つかっていないため、本市は生誕年を定めていない。歴史的な確証が得られないことから、市として公的に生誕500年を記念した事業を実施することは考えていない。

ボランティアによる観光客おもてなしの場を

Q ボランティアの方の悩みは観光客をもてなす場がない



光秀公をアピールする場として活用を(広見東地区センター)

ことである。現地ボランティアの活動拠点機能を含め、光秀公の功績を学べる歴史資料館の必要性をどう考えているか。

A 市民が主体となって活動する事業を応援する考えはあるが、本市では展示する価値のある資料等がないため資料館を建設する考えはない。

しかし、明智荘の中にある広見東地区センターを資料展示等に活用する際の支援は可能と考える。

公共施設・市道などの バリアフリーの状況は



かわかみ ふみひろ
川上 文浩

Q 既存の公共施設のバリアフリー化の改修状況は。

A 令和6年度は今渡南・今渡北・春里・桜ヶ丘小学校、蘇南・中部中学校のトイレ改修で多目的トイレを設置したほか、広陵中学校では、昇降口にスロープを設置した。

Q さつきバスに対するバリアフリー対策は。

A 各停留所での車いす利用の可否について、可視化できるように現地を確認中であり、今年の夏までに公表する予定である。また、高齢者や障がい者など乗降が不安な方の心理的負担を軽減するため、他の同乗者に対し、乗降に時間がかかることを理解してもらうようステッカーやチラシを4月上旬までに作成し啓発する。

歩道等の危険箇所周知は

Q 危険箇所・損傷箇所の周知や情報収集方法の改善策は。

A 効果的な情報収集の手段として、市民が損傷箇所等を把握した際にスマートフォンから位置情報に加え文字情報や写真をアップロードすればその情報が担当課に届く仕組みを現在検討中である。なるべく早急に整え、情報発信についても今後考えていきたい。



電動車椅子では走行できない歩道

12の視点 一般質問

プレコンセプションケア 検査などへの助成を



やまだ よしひろ
山田 喜弘

Q 将来の妊娠を考える女性などが自分たちの生活や健康に向き合うプレコンセプションケア検査費用への助成は。

A 現時点では考えていない。まずは性別にかかわらず、若い頃からの健康づくりについて、子宮頸がん検診、国保加入者のヤング健診などの取組みや講話、相談業務などを通じ、心身ともに健康であることとの意識を高めていきたい。

Q 不育症の検査・治療への助成は。

A 市の助産師が相談に応じている。不育症検査等の費用助成は県が行っており市単独では考えていない。不育症の相談先や支援などについて必要な方に届くよう市ホームページ等への掲載を考えていく。

避難所の通信環境の確保は

Q 避難所の通信環境確保の現状は。

A 既存の通信システムが途絶えた場合、指定避難所と災害対策本部との通信環境はMCA無線の使用を想定しており、令和11年のサービス終了後は移動系デジタル行政無線を予定している。避難所で市が提供できる避難者用の通信手段はないが、県が配備する通信機器の借用は可能である。



県の死産・流産リーフレット
(抜粋)

参加しやすい 自治会活動への転換を



さくや さく
酒向 さやか

Q 自治会活動に関する手続きについて、役員の負担を軽減できるようなシステムへの移行は進められないか。

A 自治連合会地域づくり交付金、自治会活動推進交付金、地区集会施設補助金や、一般廃棄物集積場の設置補助金、防犯灯設置補助金、防犯カメラ設置補助金、地域防災力向上事業補助金について、令和7年度から申請手続きのオンライン化を予定している。

ニーズの高まる高齢者福祉にどう寄り添うか

Q 高齢者サロン等地域支え合い活動を担うボランティアの高齢化や物価高騰など、運営上の課題に寄り添った補助制度見直しへの検討は。

A これまで地域支え合い活動助成金では、助成の対象としていなかった団体からのボランティア活動への謝礼について、令和7年度から助成の対象に加えることを予定している。高齢者サロンにおいては、同様の制度改正を行うが謝礼だけへの充当に限定せず、用途の自由度を高め、物価高騰にも対応できるようにする予定である。



すこやかサロン矢戸
「雛祭り茶話会」の様子

12の視点 一般質問

行政相談窓口 周知等の取組み状況は



のろ かずひさ
野呂 和久

Q 行政相談は、国の行政全般に対する苦情や意見・要望を相談できる窓口である。本市では毎月1回行政相談委員

が市内在住者を対象に相談に応じている。主催は岐阜行政監視行政相談センターであるが、生活上の困り事等を相談できる市民の大切な窓口である。窓口周知等本市の取組み状況は。

A 本市では、総務大臣から委嘱された民間の有識者3名が相談を受け、内容により必要な助言や関係機関への引継ぎ等の対応をしている。窓口周知としては、「広報かに」やホームページで日時等の案内のほか、行政相談委員が産業フェアにブースを設け、相談所の開設や啓発グッズ配布によりPRを行っている。

消費生活相談の相談時間 拡充の検討は

Q 本市の消費生活相談の終了時間は、他市町に比べ早いです。相談時間を拡充出来ないか。

A 終了時間は相談員の働きやすさや心身の負担軽減等を考慮しており、市民ニーズも聞き及んでいないことから拡充予定はない。なお令和7年度から相談日を週4日の開設とし、曜日により2名体制で対応する等相談員の負担軽減と被害の未然防止に努める。



毎月第3木曜日の市役所東館1階の相談室

地球温暖化対策への 取組みの加速を



たか ぎ
高木 将延

Q 昨年は異常に暑い年となり、水稲で白未熟粒が発生する等、農作物に大きな影響があった。

A 近年の気候変動による本市の農作物への被害状況は。めぐみの農協に市内から集荷された令和6年産の米の収穫量は前年対比約20%減となった。米以外では、キュウリが約20%減、ナスが約30%減、大豆に至っては約90%減となり、いずれも記録的な猛暑による高温障害の影響が最も大きい要因と考える。

市の温暖化対策への 率先行動は

Q 地球温暖化対策への取組みの進捗は。

A 可児市版GXアクション重点事業の推進を市組織全体

の目標として取り組んでいる。具体的には、令和7年度に庁舎正面と総合会館東側駐車場に約70台分のソーラーカーポートを設置する等、2030年度までには設置可能な公共施設の50%以上に太陽光発電設備等を設置する。従来の計画の中では10台としていた公用車の次世代自動車への移行台数を57台とするほか、照明設備全てをLED化する等、行政が率先して取り組むことで市民や事業者の意識変容につなげたい。



白未熟粒(左)と正常粒(右)の断面
(出典:地球温暖化と農林水産業)



高校生議会 ～ 若い視点での探究結果を発表 ～ (3月24日)

可児高等学校の生徒が探究活動の発表や市への提案を行う「高校生議会」を開催しました。

今回は17人の生徒が参加し、「空き家を有効活用できれば市の活性化をすることができるか」、「私たちに求められる防災」など5つのテーマの探究活動について、それぞれがユニークな発想を交えて発表しました。

例えば、農作業の負担軽減につながる小型機械を開発したいという発表をした生徒に対し、議員が「将来、農業従事者に開発した機械を広く知ってもらうにはどうすればよいと考えるか」と質問したところ、「少しお金がかかるかもしれないが、まずは農業に従事する方に実際に使ってもらうことが大事だと思う」と答弁するなど、本会議の雰囲気さながらに行われました。

議会の最後には生徒代表から意見書の提出について提案がなされ、出席生徒全員が賛成しました。意見書の内容は、生ごみコンポストを活用した資源循環を推進するための情報発信の促進や、高校生など若い世代のワークショップ実施などを求めるものです。



議場の雰囲気緊張しながらも探究結果を発表



質問にも落ち着いて回答



意見書を受け取る高木副議長

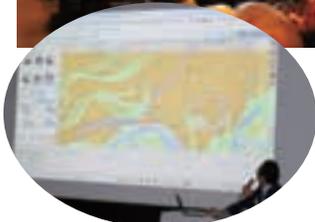


今後も若い世代と交流していきます！

議員研修会を開催 ～ 日頃から防災を意識しよう ～ (2月17日)



写真上：会場は満席に



写真左：重ねるハザードマップから身近な危険を読み取る

可児市文化創造センター・alaにて可児市議会主催の防災講演会「防災DXの最前線とこれからの展開」を開催しました。公開講座として開催し、シアタールームが満席になるほど多くの方に参加していただきました。

講師の臼田裕一郎氏（防災科学技術研究所）から、日頃から意識すべき「防災の3つの心得」として①完璧な防災はない、できることをやり尽くす。②防災に正解はない、考える力を付ける。③諦めないこと、続けることが大事。とのお話の他、地形や周囲の環境から災害リスクを自分で判断するために利用できる「重ねるハザードマップ」や「防災クロスビュー」などを分かりやすく紹介していただきました。

チョット おじゃまします

軽スポーツで地域の元気づくり シリーズ3

「軽スポーツ」とは、一般的なスポーツに比べて体にあまり負担がかからず、気軽に誰もが楽しめるスポーツのことです。

軽スポーツを通して地域の元気を探るシリーズ 第3弾は「ワンバウンドバレー」です！

●ワンバウンドバレーとは…おむすび型の軽いボール（ふらばー）をワンバウンドさせて打ち合うバレーボール型の軽スポーツです。ワンバウンドした時のボールの弾む方向が読めないため、バレーボールが得意な人が有利とも限りません。また、参加者全員がローテーションするため平等に楽しめます！

議会広報部会員の天羽議員、川合議員、山田議員、田口議員、酒向議員、前川議員がワンバウンドバレーを体験するため下恵土地区センターにおじゃましました。こちらでは毎月23日の夜に練習を行っているそうです。今回は練習に参加しているBBガールズの皆さんにお話を伺いました。

※文中で広報部会は（広）、BBガールズの皆さんは（B）としています。

広：BBガールズチームの皆さんはどういった関係のお仲間ですか。

B：保育園で知り合ったママ友です。最近子どもも大きくなったので、一緒に参加して親子で楽しんでいます。

広：普段の練習はどこで行っていますか。

B：下恵土、春里、平牧、桜ヶ丘、土田などの地区センターや小学校の体育館を中心に、市で開催される試合に向けて練習しています。

広：ワンバウンドバレーの魅力はなんですか。



誰もがハマるかも?! ワンバウンドバレー

B：年齢や性別問わず誰もが楽しめる手軽さと、小学生から80代といった多世代の方々と幅広く交流ができることです。

広：私たちが初心者ばかりでしたが、とても楽しめました。一人でも仲間と一緒にでも体験はできますか。

B：特別なテクニックが無くても楽しめるスポーツですし、借りられる道具もあるので、誰でも気軽に参加することができます。とても楽しいスポーツなので、もっと多くの皆さんにやってみてほしいです。

一度でもプレーしたら、その良さを体感できると思いますよ。

バラ議会のお知らせ

6月	5日	開会日（議案説明）
	12日、13日	一般質問・議案質疑
	17日、18日	予算決算委員会、総務企画委員会
	19日、20日	建設市民委員会、教育福祉委員会
	27日	閉会日（委員長報告・採決）

※会議は午前9時開会の予定です。
※日程は、都合により変更する場合があります。

♪ 議場コンサートを開催 ♪

6月定例会（バラ議会）では、開会日に、30分程度のコンサートを開催します。バラに囲まれた議場で素敵な演奏を楽しみませんか？申込みなしで、どなたでもお聴きいただけます。ぜひ気軽にお越しください。

- ・6月5日(木)
- ・午前9時～
- ・議場(市役所5階)



議会活動を見て・知って



令和6年度下半期の議会活動をお伝えする番組「議会のトビラ」をケーブルテレビ可児で放送します。

放送予定 5月3日(土)～9日(金)

各日 6時30分、10時15分、14時00分、19時45分、23時45分

